

問 広域で実施したほうがスケールメリットや売電収入など事業費が安価になることだが、どの程度安くなるのか。

答 概算だが、20年間で20億円程度、年間では1億円程度安価になると想定している。

合併処理浄化槽整備支援事業

問 事業補助金の予定数を7基から11基にすることだが、追加の理由は。

答 申請者の増加によるもの。現在の申請数と今後の見込みから、5人槽を4基から3基、7人槽を2基から5基、10人槽を1基から3基とした。

問 大人数の合併浄化槽が増えた理由は。

答 申請見込みについて聞き取りを行ったところ、今年度は建て替え、増築、二世帯住宅が増えていていると思われる。



問 今年度、あと半年あるが、申請件数が増えてくることはあるか。

答 問合せがあった業者や施工業者の聞き取り調査を行って、これくらいが見込めるとし、今回の補正を行った。

建築物耐震化推進支援事業

問 木造住宅の耐震改修の補助について、増加の理由は事業所向けの住宅耐震改修勉強会等の開催が功を奏したのか。

答 そのように考えている。

問 耐震改修工事の費用は、大きな判断理由になると思うが、どう考えているか。

答 木造住宅耐震改修勉強会では、より精密な改修設計、安価にできる工法を学び、従来と比べ費用を抑えた工事を実施できるようにすることを目的としている。この勉強会の内容が改修工事を実施する市民の決断に寄与していると考えている。

問 安価にできる工法は従来の工法と比べ、どのくらい安価なのか。

答 住宅の形、規模、元の住宅の強度によって異なるが、従来の工法と比べ7割から8割程度の費用に抑えることができる。

問 感染症から身を守るための在宅避難を耐震改修のメリットとして啓発していくことだったが今回の増加に関係はあるのか。

答 広報たはらで耐震改修後の在宅避難について周知を図り、実際に耐震改修を行うことで被災時の在宅避難を考えている方がいると聞いている。

(9/8予算決算委員会)



■意見書を送付しました

9月28日の本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣、財務大臣などに意見書を提出しました。
※内容はホームページでご覧いただけます。(それぞれのQRコードからアクセスも可能です。)

▽定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

※田原市教員組合からの陳情を受け、9月6日の文教厚生委員会で審査し、全会一致で採択されました。

▽コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

